

船舶事故等調査報告書

平成24年12月20日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | |
|-------------|---|
| 事故等番号 | 2012長第53号 |
| 事故等種類 | 運航不能（機関損傷） |
| 発生日時 | 平成24年7月16日（月、祝日） 07時05分ごろ |
| 発生場所 | 長崎県西海市江ノ島西方沖 西海市所在の丸田港南防波堤灯台から真方位324° 1,450m 付近 （概位 北緯33° 00.7′ 東経129° 20.6′） |
| 事故等調査の経過 | 平成24年7月17日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 |
| 事実情報 | |
| 船種船名、総トン数 | ゴムボート（船名なし）、長さ約2.95m |
| 船舶番号、船舶所有者等 | なし、個人所有 |
| 乗組員等に関する情報 | 操縦者、操縦免許なし |
| 死傷者等 | なし |
| 損傷 | 船外機濡損 |
| 事故等の経過 | 本船は、操縦者が操縦し、江ノ島の碁石浜から西方沖の西ノ小島に釣り仲間4人を1人ずつ移送中、平成24年7月16日07時05分ごろ、後方から波をかぶり、船外機が運転できなくなった。 本船は、操縦者と釣り仲間1人が本船に積み込んでいたオールをこいで碁石浜に戻り、西ノ小島に取り残されていた釣り仲間3人は地元の漁船に救助された。 |
| 気象・海象 | 気象：天気 曇り、風向 南東、風力 4、視界 良好 海象：波高 約2.0～2.5m |
| その他の事項 | 船外機は、トランサム板に取り付けていたが、同板に当たった波が燃焼室内に入って運転できなくなった。 操縦者及び釣り仲間4人は、全員が救命胴衣を着用していた。 |
| 分析 | |
| 乗組員等の関与 | あり |
| 船体・機関等の関与 | あり |
| 気象・海象の関与 | あり |
| 判明した事項の解析 | 本船は、碁石浜から西ノ小島に向けて航行中、船外機を取り付けているトランサム板に当たった波が船外機の燃焼室に入ったことから、船外機が運転できなくなり、運航不能になったものと考えられる。 |
| 原因 | 本インシデントは、本船が碁石浜から西ノ小島に向けて航行中、船外機を取り付けているトランサム板に当たった波が船外機の燃焼室に入ったため、船外機が運転できなくなったことにより発生したものと |

| | |
|-----------|--|
| | 考えられる。 |
| 参考 | 今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・ゴムボートは、波が高いときには使用を控えること。 |